



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

食品由来の脂質代謝改善因子の新規スクリーニング 及びその機能評価

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長岡, 利 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/421

【はじめに】

動脈硬化症予防・改善のための多くの医薬品・食品の登場、社会的関心とは裏腹に、現在でも WHO の統計では、世界の死因の第1位は、依然として心臓血管疾患であり、その主因の一つに今回の研究課題であるコレステロール代謝改善作用と深く関連する動脈硬化の問題が未解決のまま残されている。つまり、決定的な動脈硬化症の解決策は残念ながら現在もない、というのも厳然とした事実である。

これまで食品成分においてはコレステロール代謝を改善するために、すでに大豆ペプチド、キトサンなどのわずか数種の成分が厚生省の特定保健用食品に認定されているが、動脈硬化の解決策にはなっていないということを勘案すれば明らかなように、抗動脈硬化因子、コレステロール吸収抑制因子のいずれも満足のいく食品成分が発見されていないのも事実であると言わざるを得ない。

本研究はコレステロール代謝改善作用を発現する食品成分（抗動脈硬化因子、コレステロール吸収抑制因子）を探索評価することを目的としたものである。

【研究組織】

研究代表者：長岡 利（岐阜大学農学部助教授）

研究分担者：清島 満（岐阜大学医学部教授）

【研究経費】

平成10年度 1,900千円

平成11年度 1,400千円